



心不全再入院及び重症化リスクに関わる因子の検討

2015年1月1日から2030年12月31日までに心不全で当院に入院した患者さん

研究協力のお願い

当科では「心不全再入院及び重症化リスクに関わる因子の検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2015年1月1日より2030年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科・心臓血管集中治療科にて、心不全のために入院された患者さんの臨床的特徴と予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：「心不全再入院及び重症化リスクに関わる因子の検討」に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2031年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 循環器内科 久保田 芳明

(2) 研究の意義、目的について

2030年には本邦の心不全患者が130万人を超えると予測されており、医療上のみならず医療経済上の課題としてとらえられています。その対策としては、心不全発症・重症化予測の実現と、効果的かつ効率的な予防・治療法の開発・確立・普及が不可欠です。本研究は、当院における心不全発症・重症化予測法を開発するとともに、それを活用した最適な治療戦略を見出し、心不全医療の質を向上させようとするものです。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2015年1月1日より2030年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科・心臓血管集中治療科にて、心不全で入院をされた患者さんを対象とします。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用い機械学習を用いたデータ解析を外部企業へ委託して行われます。

- ・情報：年齢、性別、現病歴、内服歴、再入院など
- ・採血データ：Na, K, Cr, BUN, BNP, NT-proBNP など
- ・心エコー図検査：左室駆出率、左室流入速波形、三尖弁圧較差逆流圧較差、下大静脈径など
- ・心電図：心拍数、QRS幅、QT間隔など
- ・試料：なし

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 循環器内科 病院講師 久保田芳明

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24778

メールアドレス：ykubota@nms.ac.jp